

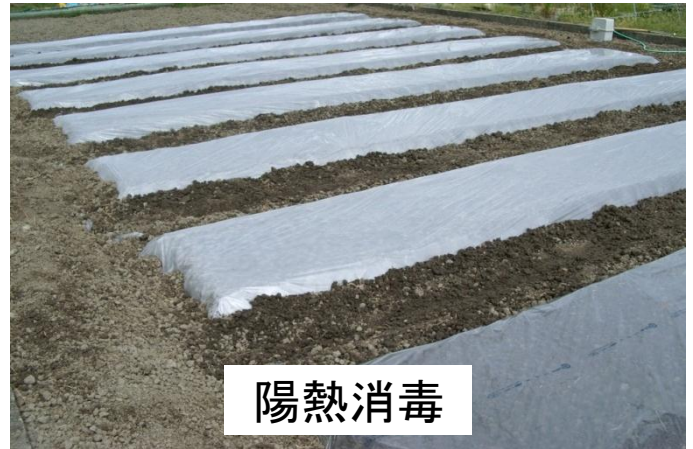
有機栽培タマネギの地床育苗における 陽熱消毒による雑草防除

目的と特徴

- 有機栽培タマネギの育苗床の雑草対策について、陽熱消毒期間を見直しました。
- 従来約2ヶ月間の陽熱消毒期間を30～50日間に短縮できます。
- 慣行除草技術と同程度の高い抑草効果が得られます。

これまでは・・・
梅雨明け後から
約2ヶ月間の陽熱消毒

どれくらいの期間なら
雑草防除に効果があるの？



陽熱消毒



陽熱消毒期間 30～50日
慣行と同等の除草効果・苗質



陽熱消毒50日間



陽熱消毒なし

成果

- 透明ポリエチレンフィルムを播種前に30～50日間被覆することで、慣行の農薬による雑草防除と同程度に高い抑草効果が得られます。
- 陽熱消毒の処理期間は、50日間と30日間で雑草防除に大きな差はありません。
- 陽熱消毒を実施した苗床での苗の生育は良好で、苗立数も多いです。

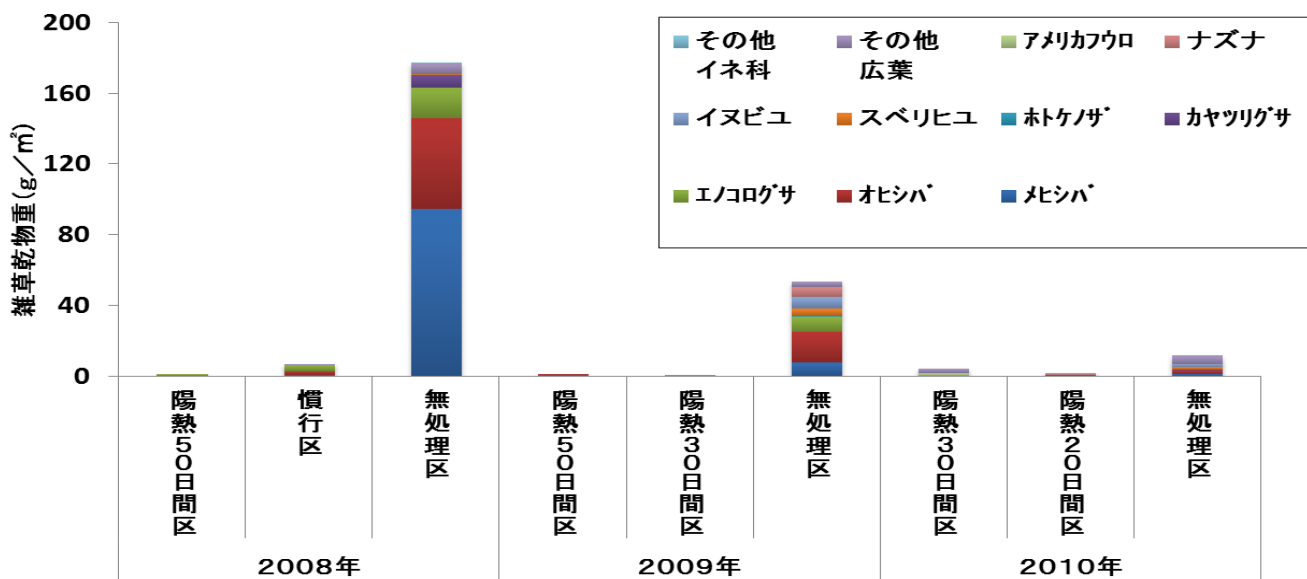


図1 陽熱消毒期間と雑草防除効果

注1) 慣行区は除草剤のダゾメットを3kg/a表層施用後、9月3日～21日にかけて透明ビニルで被覆。
 注2) 被覆下7.5cmの積算地温は2009年では陽熱50日間区で50℃以上が14時間、40℃以上が355時間、陽熱30日間区で50℃以上が9時間、40℃以上が201時間。2010年では陽熱30日間区で50℃以上が57時間、40℃以上が272時間、陽熱20日間区で0℃以上が15時間、40℃以上が129時間。

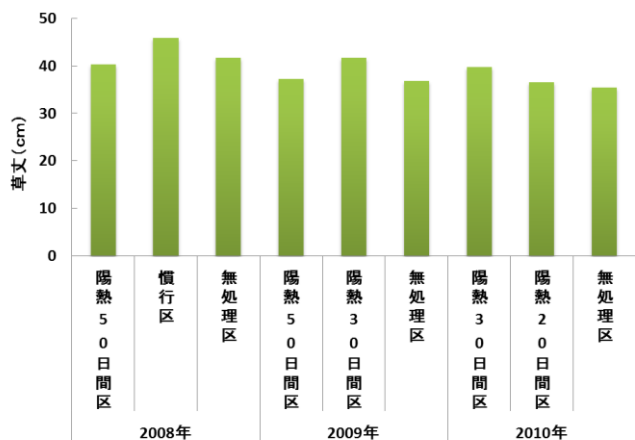


図2 陽熱消毒期間とタマネギの草丈

注1) 供試験品種は「貴錦」

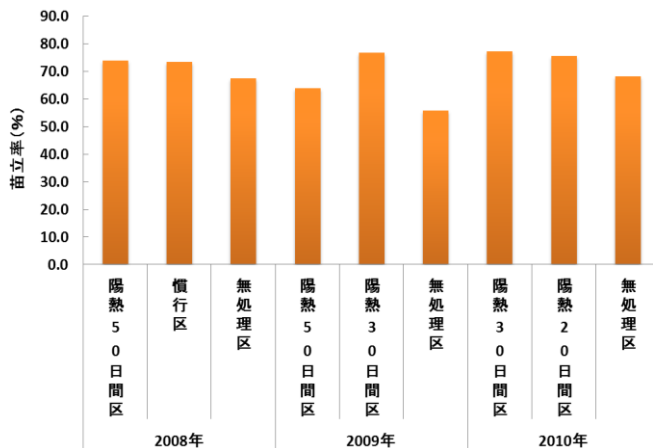


図3 陽熱消毒期間とタマネギの苗立率

対象作物、普及対象

- ・タマネギ、九州

対象農家

- ・タマネギの有機栽培農家または、これからタマネギの有機栽培に取り組む農家

必要な道具

- ・透明ポリエチレンフィルム、マルチャー

関連HP

http://www.pref.saga.lg.jp/web/var/rev0/0100/5068/h22seika_15.pdf

その他

- ・極早生品種以降のタマネギ苗床に適用可能です。透明ポリエチレンフィルム被覆直前に5mm程度のかん水が必要です。陽熱消毒期間中に曇雨天が続けば、雑草防除効果が落ちる可能性があります。